

	総合診療専門研修 I (診療所/中小病院)		総合診療専門研修 II (病院総合診療部門)		内科		小児科		救急科		他の領域別研修	
	設定	推奨	設定	推奨	設定	推奨	設定	推奨	設定	推奨	設定	推奨
I. 一般的な症候及び疾患への評価及び治療に必要な診察及び検査・治療手技 以下に示す検査・治療手技のうち、※印の項目は90%以上の経験が必須だが、それ以外についてもできる限り経験することが望ましい。	設定	推奨	設定	推奨	設定	推奨	設定	推奨	設定	推奨	設定	推奨
(ア) 身体診察												
※①小児の一般的身体診察及び乳幼児の発達スクリーニング診察を実施できる。	○	◎	○				○	◎				
※②成人患者への身体診察（直腸、前立腺、陰茎、精巣、鼠径、乳房、筋骨格系、神経系、皮膚を含む）を実施できる。	○	◎	○	◎	○	◎			○	◎		○
※③高齢患者への高齢者機能評価を目的とした身体診察（歩行機能、転倒・骨折リスク評価など）や認知機能検査（HDS-R、MMSEなど）を実施できる。	○	◎	○	◎	○	○						
※④耳鏡・鼻鏡・眼底鏡による診察を実施できる。	○	◎	○	◎								○
※⑤死亡診断を実施し、死亡診断書を作成できる。	○	◎	○	◎	○	○			○	○		
⑥死体検案を警察担当者とともに実施し、死体検案書を作成できる。	○	◎	○	○					○	◎		
(イ) 実施すべき手技												
※①各種の採血法（静脈血・動脈血）、簡易機器による血液検査・簡易血糖測定・簡易凝固能検査	○	○	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎		
※②採尿法（導尿法を含む）	○	○	○	◎	○	◎	○	◎	○	○	○	
※③注射法（皮内・皮下・筋肉・静脈内・点滴・成人及び小児静脈確保法、中心静脈確保法）	○	◎	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	
※④穿刺法（腰椎・膝関節・肩関節・胸腔・腹腔・骨髄を含む）	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○		
(ウ) 検査の適応の判断と結果の解釈が必要な検査												
※①単純X線検査（胸部・腹部・KUB・骨格系を中心）	○	◎	○	◎	○	◎	○	○	○	◎		
※②心電図検査・ホルター心電図検査・負荷心電図検査	○	◎	○	◎	○	○			○	○		
※③超音波検査（腹部・表在・心臓、下肢静脈）	○	◎	○	◎	○	○			○	○		
※④生体標本（喀痰、尿、皮膚等）に対する顕微鏡的診断	○	◎	○	◎	○	○	○	○	○	○		
※⑤呼吸機能検査	○	◎	○	◎	○	○						
※⑥オージオメトリーによる聴力評価及び視力検査表による視力評価	○	◎										○
⑦消化管内視鏡（上部）	○	○	○	○	○	○						
⑧消化管内視鏡（下部）	○	○	○	○	○	○						
⑨造影検査（胃透視、注腸透視、DIP）	○	○	○	○	○	○						
※⑩頭・頸・胸部単純CT、腹部単純・造影CT			○	○	○	○	○	○	○	○	○	
⑪頭部MRI/MRA			○	○	○	○	○	○	○	○	○	
(エ) 救急処置												
※①新生児、幼児、小児の心肺蘇生法（PALS）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
※②成人心肺蘇生法（ICLSまたはACLS）または内科救急・ICLS講習会（JMECC）	○	○	○	○	○	○	○		○	○		
※③外傷救急（JATEC）									○	○		
(オ) 薬物治療												
※①使用頻度の多い薬剤の副作用・相互作用・形状・薬価・保険適応を理解して処方することができる。	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○		
※②適切な処方箋を記載し発行できる。	○	◎	○	○	○	○	○					
※③処方、調剤方法の工夫ができる。	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○		
※④調剤薬局との連携ができる。	○	◎	○	○				○	○			
⑤麻薬管理ができる。	○	◎	○	○	○	○						
(カ) 治療法												
※①簡単な切開・異物摘出・ドレナージ	○	◎	○	○					○	◎	○	○
※②止血・縫合法及び閉鎖療法	○	◎	○	○					○	◎	○	○
※③簡単な脱臼の整復	○	◎	○	○				○	○	○	○	○
※④局所麻酔（手指のブロック注射を含む）	○	◎	○	○					○	◎	○	○
※⑤トリガーポイント注射	○	◎	○	○							○	○
※⑥関節注射（膝関節・肩関節等）	○	◎	○	○							○	○
※⑦静脈ルート確保および輸液管理（IVHを含む）	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○		
※⑧経鼻胃管及びイレウス管の挿入と管理	○	◎	○	○	○	○	○		○	○		
※⑨胃瘻カテーテルの交換と管理	○	◎	○	○	○	○	○					
※⑩導尿及び尿道留置カテーテル・膀胱瘻カテーテルの留置及び交換	○	◎	○	○	○	○	○		○	○		
※⑪褥瘻に対する被覆治療及びデブリードマン	○	◎	○	○							○	○
※⑫在宅酸素療法の導入と管理	○	◎	○	○	○	○	○					
※⑬人工呼吸器の導入と管理	○	○	○	○	○	○	○		○	○		
⑭輸血法（血液型・交差適合試験の判定や在宅輸血のガイドラインを含む）	○	○	○	○	○	○						
⑮各種ブロック注射（仙骨硬膜外ブロック・正中神経ブロック等）	○	○	○	○							○	○
⑯小手術（局所麻酔下での簡単な切開・摘出・止血・縫合法）	○	○	○	○					○	○		

※[1]心不全	○	◎	○	○	○	○		○	◎		
※[2]狭心症、心筋梗塞	○	○	○	○	○	○		○	○		
[3]心筋症							○	○	○		
※[4]不整脈（心房細動、房室ブロック）	○	○	○	○	○	○		○	○		
[5]弁膜症（僧帽弁膜症、大動脈弁膜症）	○	○	○	○	○	○	○	○			
※[6]動脈疾患（動脈硬化症、大動脈瘤）	○	○	○	○	○	○		○	○		
※[7]静脈・リンパ管疾患（深部静脈血栓症、下肢静脈瘤、リンパ浮腫）	○	○	○	○	○	○					
※[8]高血圧症（本態性、二次性）	○	○	○	○	○	○					
(6) 呼吸器系疾患											
※[1]呼吸不全（在宅酸素療法含む）	○	◎	○	○	○	○	○	○	○		
※[2]呼吸器感染症（急性上気道炎、気管支炎、肺炎）	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
※[3]閉塞性・拘束性肺疾患（気管支喘息、気管支拡張症、慢性閉塞性肺疾患、塵肺）	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
[4]肺循環障害（肺塞栓・肺梗塞）	○			○	○	○			○	○	
※[5]異常呼吸（過換気症候群、睡眠時無呼吸症候群）	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
※[6]胸膜・縫隔・横隔膜疾患（自然気胸、胸膜炎）	○	○	○	○	○	○		○	○		
[7]肺癌	○	○	○	○	○	○					
(7) 消化器系疾患											
※[1]食道・胃・十二指腸疾患（食道静脈瘤、胃癌、消化性潰瘍、胃・十二指腸炎、逆流性食道炎）	○	○	○	○	○	○		○	○		
※[2]小腸・大腸疾患（イレウス、急性虫垂炎、痔核・痔瘻、過敏性腸症候群、憩室炎、大腸癌）	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
※[3]胆囊・胆管疾患（胆石、胆囊炎、胆管炎）	○	○	○	○	○	○	○				
※[4]肝疾患（ウイルス性肝炎、急性・慢性肝炎、肝硬変、肝癌、アルコール性肝障害、薬物性肝障害）	○	○	○	○	○	○	○		○	○	
※[5]脾臓疾患（急性・慢性脾炎）	○	○	○	○	○	○	○		○	○	
※[6]横隔膜・腹壁・腹膜疾患（腹膜炎、急性腹症、鼠径ヘルニア）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
(8) 腎・尿路系（体液・電解質バランスを含む）疾患											
※[1]腎不全（急性・慢性腎不全、透析）	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
[2]原発性糸球体疾患（急性・慢性糸球体腎炎症候群、ネフローゼ症候群）			○	○	○	○	○	○	○		
※[3]全身性疾患による腎障害（糖尿病性腎症）	○	○	○	○	○	○	○				
※[4]泌尿器科的腎・尿路疾患（尿路結石、尿路感染症、過活動膀胱）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
(9) 妊娠分娩と生殖器系疾患											
[1]妊娠分娩（正常妊娠、流産、早産、正常分娩、産科出血、産褥）	○									○	○
※[2]妊婦・授乳婦・褥婦のケア（妊婦・授乳婦への投薬、乳腺炎）	○	○								○	○
※[3]女性生殖器及びその関連疾患（月経異常（無月経を含む）、不正性器出血、更年期障害、外陰・陰・骨盤内感染症、骨盤内腫瘍、乳腺腫瘍）	○	○								○	○
※[4]男性生殖器疾患（前立腺疾患、勃起障害）	○	○	○	○						○	○
(10) 内分泌・栄養・代謝系疾患											
[1]視床下部・下垂体疾患（下垂体機能障害）					○	○					
※[2]甲状腺疾患（甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症）	○	○	○	○	○	○					
[3]副腎不全					○	○					
※[4]糖代謝異常（糖尿病、糖尿病の合併症、低血糖）	○	○	○	○	○	○					
※[5]脂質異常症	○	○	○	○	○	○					
※[6]蛋白及び核酸代謝異常（高尿酸血症）	○	○	○	○	○	○					
(11) 眼・視覚系疾患											
[1]屈折異常（近視、遠視、乱視）	○	○								○	○
※[2]角結膜炎（アレルギー性結膜炎）	○	○								○	○
[3]白内障	○	○								○	○
[4]緑内障	○	○							○	○	○
[5]糖尿病・高血圧・動脈硬化による眼底変化										○	○
(12) 耳鼻・咽喉・口腔系疾患											
※[1]中耳炎	○	○					○	○			○
※[2]急性・慢性副鼻腔炎	○	○	○	○	○	○	○				○
※[3]アレルギー性鼻炎	○	○	○	○	○	○	○				○
※[4]咽頭炎（扁桃炎、扁桃周囲膿瘍）	○	○	○	○	○	○	○				○
[5]外耳道・鼻腔・咽頭・喉頭・食道の代表的な異物	○	○					○	○	○		○
(13) 精神・神経系疾患											
[1]症状精神病	○	○	○	○	○	○		○	○		○
※[2]認知症（アルツハイマー型、血管型）	○	○	○	○	○	○	○				○
※[3]依存症（アルコール依存、ニコチン依存）	○	○	○	○	○	○					○
※[4]うつ病	○	○	○	○		○					○
[5]統合失調症	○	○	○	○		○					○
※[6]不安障害（パニック障害）	○	○	○	○		○			○	○	○
※[7]身体症状症（身体表現性障害）、適応障害	○	○	○	○		○					○
※[8]不眠症	○	○	○	○	○	○					○
(14) 感染症											
※[1]ウイルス感染症（インフルエンザ、麻疹、風疹、水痘、ヘルペス、流行性耳下腺炎、HIV）	○	○	○	○	○	○	○	○			
※[2]細菌感染症（ブドウ球菌、MRSA、A群レンサ球菌、クラミジア）	○	○	○	○	○	○	○	○			
[3]結核	○		○			○	○				
[4]真菌感染症	○	○	○			○	○				○
[5]性感染症	○	○	○			○					○
[6]寄生虫疾患						○	○	○			
(15) 免疫・アレルギー疾患											
※[1]膠原病とその合併症（関節リウマチ、SLE、リウマチ性多発筋痛症、シェーグレン症候群）	○	○	○	○	○	○	○				
[2]アレルギー疾患	○	○	○	○	○	○	○	○			
※[3]アナフィラキシー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
(16) 物理・化学的因素による疾患											
※[1]中毒（アルコール、薬物）			○	○	○	○	○		○	○	
[2]環境要因による疾患（熱中症、寒冷による障害）			○	○	○	○	○		○	○	
※[3]熱傷	○	○							○	○	○
(17) 小児疾患											
[1]小児けいれん性疾患							○	○	○	○	
※[2]小児ウイルス感染症（麻疹、流行性耳下腺炎、水痘、突発性発疹、インフルエンザ、RS、ロタ）	○	○					○	○			
※[3]小児細菌感染症	○	○					○	○			
※[4]小児喘息	○	○					○	○	○	○	
[5]先天性心疾患							○	○			
[6]発達障害（自閉症スペクトラム、学習障害、ダウン症、精神遅滞）	○	○					○	○	○	○	
[7]小児虐待の評価	○	○					○	○	○	○	
(18) 加齢と老化											
※[1]高齢者総合機能評価	○	○	○	○	○	○					
※[2]老年症候群（誤嚥、転倒、失禁、褥瘡）	○	○	○	○	○	○					
(19) 悪性腫瘍											
※[1]維持治療期の悪性腫瘍	○	○	○	○	○	○	○				○
※[2]緩和ケア	○	○	○	○	○	○	○				
IV 医療・介護の連携活動 以下に示す診療を適切に実施することができる。											
(1)介護認定審査に必要な主治医意見書の作成	○	○	○	○	○	○	</td				

	(2)各種の居宅介護サービスおよび施設介護サービスについて、患者・家族に説明し、その適応を判断	○	◎	○	○							
	(3)ケアカンファレンスにおいて、必要な場合には進行役を担い、医師の立場から適切にアドバイスを提供	○	◎	○	○							
	(4)グループホーム、老健施設、特別養護老人ホームなどの施設入居者の日常的な健康管理を実施	○	◎	○	○							
	(5)施設入居者の急性期の対応と入院適応の判断を、医療機関と連携して実施	○	◎	○	○							
V 保健事業・予防医療	以下に示すケアや活動を適切に提供・実践することができる。											
	(1)特定健康診査の事後指導	○	◎	○	◎							
	(2)特定保健指導への協力	○	◎	○	◎							
	(3)各種がん検診での要精査者に対する説明と指導	○	◎	○	◎							
	(4)保育所、幼稚園、小学校、中学校において、健診や教育などの保健活動に協力	○	◎	○	○							
	(5)産業保健活動に協力	○	◎	○	○							
	(6)健康教室（高血圧教室・糖尿病教室など）の企画・運営に協力	○	◎	○	○							